

# スタディ・メイト通信

令和 2 年 3 月  
富山県教育委員会  
県立学校課

県立学校課長 本江 孝一

令和の幕開けとなった今年度、新たに 44 名の方がスタディ・メイト養成講座を修了されました。本講座がスタートした平成 18 年度以降、たくさんの方に受講いただき、多くの方が幼稚園、小学校、中学校でスタディ・メイトとして活躍されています。

この 10 年あまりの間に、特別支援学級や通級による指導の対象となる子どもの数が増えると共に、通常の学級に在籍する発達障害のある子どもなどへの支援がますます求められようになり、子どもに必要な支援ニーズが多様化してきています。それに伴い、特に担任等の目が行き届きにくい部分をサポートいただいているスタディ・メイトさんの支援が必要な場面も増えてきており、学校での皆さんへの期待がさらに高まっていると感じています。

すべての子どもたちが能力を十分に発揮して、自立し社会参加することを目指し、幼稚園、小学校、中学校、高校、成人期と切れ目ない支援の一環として、目の前の子どもたちの成長に携わっていただいている皆様に感謝すると共に、より一層、ご活躍いただけるよう、県教育委員会として今後も養成講座や研修会の充実に努めてまいります。



## スタディ・メイトさんからの声

自分のことを悪く言ったり、価値がないように言ったりする子に、部活動や委員会の頑張りを褒めてあげることで、自信をもって学習に取り組み始めました。

算数が得意で問題がすぐ解け、答えを言いたがる児童に、余分に問題を渡し待ち時間が少なくなるようにしたり、「意見は心の中で言います」とメモを机に貼ったりする支援をすることで、少し待てるようになってきました。

こんな支援が  
有効でした！！



自分の思いが通らないと大声を出し、思いが通るまで話し続ける児童に、「別室で話を聞く」「声のものの差しカードで声の大きさを確認する」という支援を繰り返すと、場に応じた声の大きさを話したり、人の意見や話を聞いたりできるようになりました。

スタディ・メイト研修会アンケートより

# 今年度のスタディ・メイト養成講座について

令和元年5月17日(金)に開講し、8月28日(水)の修了式まで、全7回にわたり、スタディ・メイト養成講座が開催されました。

## 第1回 開講式・全体研修会 (令和元年5月17日)

臨床心理士の山下委希子先生に「発達障害の理解と支援 ～かかわりあうための基本を学ぶ～」の演題で、子どもの味方になるために、かかわりあうために具体的な演習等を通してお話いただきました。

## 第2回～第5回 特別支援学校における研修 (令和元年6月～7月)

第2回から第5回の研修は、県内4地域の特別支援学校で実践的な研修を行いました。



発達障害児の疑似体験や事例に基づいた講義などとおして、「行動には理由があること」に気付き、児童生徒はどのような気持ちなのか、その時にどのような支援をすればよいのか、についてお互い熱心に話し合う様子が見られました。

### しらとり支援学校



児童生徒と関わる体験研修や発達障害児の疑似体験等を通して、児童生徒の具体的な支援方法について意見交換を行いました。「すべきことが分かるような視覚的な支援や分かりやすい言葉を心掛けたい」等の感想が聞かれました。

### 高岡支援学校



児童生徒と関わる体験研修や発達障害児の疑似体験を通して、支援が必要な児童生徒の理解を深め、支援方法を学びました。「疑似体験を通して、やる気はあるのにうまくできない気持ちを理解することができた」という感想が聞かれました。

### となみ総合支援学校



3グループに分かれて「つい、席を立ってしまう」「特定の学習についていけない」等について、子どもの気持ち、支援の方法を検討しました。「子どもの気持ちに寄り添いたい」「他のメイトさんの意見が参考になった」という感想が聞かれました。

### にいかわ総合支援学校

## 第6回 全体研修会（令和元年8月22日）

前半は、黒部市立中央小学校長の戸島宏之先生から「特別な支援が必要な児童生徒のために～小学校では～」の演題で、スタディ・メイトのサービスやスタディ・メイトは学校の一員であることなどについて、後半は、上市町立相ノ木小学校の稲生由佳先生から「小学校における支援の実際」について、お話しいただきました。

## 第7回 全体研修会・閉講式（令和元年8月28日）

富山大学人間発達科学部講師の和田充紀先生に「発達障害児の理解について」と題して、学習面への支援、行動面への支援の具体的な方法、「褒めて、認めて、良さを伝える」ことの大切さなどについてお話しいただきました。

## スタディ・メイト研修会

令和元年11月18日（月）にスタディ・メイトの資質向上を図るため、現在ご活躍いただいているスタディ・メイトやスタディ・メイト養成講座受講者を対象とした研修会を開催しました。

講師に、元高岡市きずな子ども発達支援センター室長で、現在もスタディ・メイトとしてご活躍の石崎泰子先生をお迎えし、前半は、『発達が気になる子どもの自立に向けて～「理解」「受け止め」「みちびき」～』と題して講演をいただき、後半は、小グループに分かれ、協議や情報共有等を行いました。

### ○講義を受けて

- ・学習支援の他に休み時間、給食の時間などの短い時間で子どもたちとの交流の大切さを知りました。
- ・子どもをつまづきを明確に、認め言葉を伝えることを明日から実践していきたい。
- ・児童への接し方、言葉、態度が子どもたちの将来に関わるものと、責任を感じ、やりがいをもっていきたいと思いました。
- ・支援を必要とする子をつまづきや困難さに気づき、自分でやろうとする力を伸ばしてあげることが大切だと思いました。
- ・子どもは子ども社会で自分自身で成長していくという言葉が印象的でした。
- ・子どもの自立に向けて、心の育ちを重視する関わりの大切さを学びました。
- ・子どもに接する自分の気持ちや考え次第でどんな風にでも受け取れると思ひ、もう少し力を抜いて子どもたちに接しても良いことに気づかされました。
- ・大きな視野で子ども達と過ごそうと勇気をもらいました。
- ・自分に許された時間の中で、生徒のために何が出来るかを精一杯考えることが大切だと感じました。



## ○グループ協議、情報交換（スタディ・メイト研修会）

- ・同じような大変さ、悩みを共有でき、自分だけじゃないと少し心が軽くなりました。孤独感から少し解放された気がしました。
- ・今年初めて中学校に配属されたので、この場で同じ立場の方とお話しができてよかったです。
- ・もっと学校とスタディ・メイトが話す時間があると良いと思いました。お互い話をするすることで、子どもたちへの良い支援につながるのではないかと思います。
- ・自分の話を聞いてもらったり、他の人の話を聞いたりすることで、明日からまた一人一人と温かな雰囲気の中で接していけるよう頑張ろうと思いました。
- ・他市町村の方とお話しができて良かったです。
- ・子どもへの接し方を聞いていて、**Best** よりも **Better** で良いんだという意見が参考になりました。
- ・スタディ・メイトという立場で日々考えていることを気楽に出し合える貴重な時間でした。
- ・人の話を聞くことで、自分の支援の仕方で良かったと安心できました。
- ・担任の先生に声を掛けてもらったり、お礼を言われたりするとうれしいです。



## 令和2年度の予定

### 【スタディ・メイト養成講座】

第1回 令和2年5月15日(金) 14:30～16:30(富山県総合教育センター)

第2回～第5回 令和2年5月～7月(特別支援学校にて)

第6回 令和2年8月20日(木) 14:00～16:30(富山県総合教育センター)

第7回 令和2年8月27日(木) 9:30～12:00(富山県総合教育センター)

現在、スタディ・メイトとしてご活躍の方でも、本講座を未修了であれば受講できます。また、第1回及び第6回、第7回は、養成講座を受講済みの方も聴講することができます。

### 【スタディ・メイト研修会】

日時 令和2年11月16日(月) 午後  
(富山県総合教育センター)

お問合せ・お申込みは  
市町村教育委員会まで